



第409号 平成24年8月1日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601-1 こどもみらい館 2階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 奥村正治

恒例の京都市学校医会と校園長会・養護教育研究会との懇談会

会長 奥村正治

7月14日（土）に京都市立学校校園長会の先生方、（会長と副会長）2名ずつ、幼稚園長会・小学校長会・中学校長会・高等学校長会・総合支援学校長会の10名と医会からは、私と林、竹内両副会長、井本専務理事、長村監事、眼科医会から弓削先生、耳鼻咽喉科医会からは鈴木先生の7名が参加した。教育委員会からは上田保健安全課長と有澤担当課長補佐の2名が加わりました。

又、7月21日（土）には養護教育研究会の先生方とも懇談会をもった。養護教育研究会からは、会長の稲葉先生、副会長の金澤先生、庶務部長の岩佐先生の3名の少人数であった。もう1名の副会長先生は自校の長期宿泊学習の為、付添いで花背山の家に行っておられ欠席となった。医会からは、私と林、竹内両副会長、井本専務理事、杉本常任理事、長村監事、眼科医会から細谷先生、耳鼻咽喉科からは鈴木先生の8名が参加した。教育委員会からは小原指導主事に加わっていただきました。

本年の懇談会は両会とも1) 検診後の未受診者の受診勧告についてと題して、近年色々の検診は、4、5、6月に行なわれるが、一般検診後の二次検診の受診率の低下が目立って来ている。御両親のお仕事の関係などで受診が出来にくくなっている点もみのがせない。しかし、疾患によっては重大な問題をかかえるケースもある為、養護の先生任せにするのではなく、学校管理者や校医も加わって勧奨する様な

手立てを立てて受診を出来るだけ行なっていただく様に努力しようという話になりました。2) 病院に受診する場合、紹介状をもって受診する事が費用の面でうまく事が運ぶという内容をお話し、学校の書類も変更していただき、ここ1年ほどかけて、紹介状作りをしようとなりました。これには校医先生のお力もおかりして、進めていかななくてはなりません。その時には、宜しく願いいたしたいと存じます。校園長会とは3) 校医を必要とするプログラムには、日程など決まってから校医に話を持って来ていただいてもうまくすすまないの、日程の決定までの間に校医の先生方と連絡を取って進めてほしいというお願いをいたしました。

一方、校園長先生方からの方では、幼稚園長会からは、視力検査が幼稚園にも加わり、弱視の園児がみつかったという事例の報告を受けました。総合支援学校長会からは、実現はそうとう努力を必要とするが、修学旅行等の宿泊学習に障がいをもった児童・生徒である為、医師の同行がなんとかならないか？というお話であったが、時期が集中する事もあり、なかなか医師派遣はむずかしいがOBの先生方や、病院の先生方を何とか説き伏せていただくしかないでしょうとお答えした。

又、養護教育研究会よりは、1) 中学校より内科検診についてという事で、上半身着衣での検診の話題であるが、特に背柱検診においては、みおとし例

が出て来る可能性が高く、訴訟等になっているケースも他県では出て来ているので上半身着衣なしをおしすすめてほしいとお願いした。2) 新任学校医の研修についてのお尋ねがあり、毎年3月に行なっている新任学校医の研修プログラムをお示した。新校医が確認の意味で、学校に出向かれたと思うが「検診はどうしよう」と云われる先生があり、養護教諭は困りましたというお話でしたが、新しい校

医の先生が、勉強なされた分でもよかったのですね。と確かめに行かれたのでしょうかという解答をいたしました。

両会とも正式の協議事項は、上記の内容でありましたが、懇親会では、医師と学校の先生方とが適当にバラつき、日頃の困っておられる話題やら、学校運営の話やら、保健室の話やら、多方面に渡る話題がお互い話せた一時でもありました。

第26回京都市小学生水泳記録会の報告

福西小学校校医 奥村正治

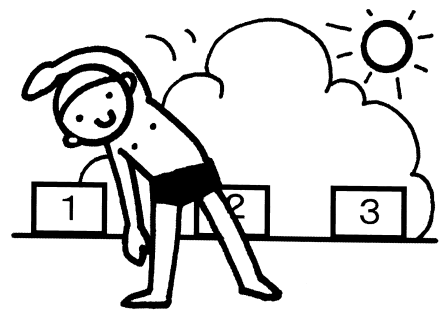
7月30日の月曜日、西京極の京都アクアリーナで小学生6年生の児童の水泳記録会が開かれました。本年は、会場管理者から抽選の結果、月曜日開催となったと教育委員会から連絡を受け、どの先生方も休日あけの月曜日はお忙しい事と存じ、特に医師出務の募集も行なわなかったが、小生一人出務する事でその責を果たしてまいりました。

小学生にとっては、学校よりもはるかに美しく、正式の競技用プールで泳ぐ事は、一生の思い出となるでしょう。エントリーは市内148校、男子821名、女子741名の参加で行なわれ、午前10時開会式、午後4時半閉会式で一日が終った。

種目は、男子、女子とも50mクロール、50m平泳ぎ、200mクロールリレー、200m混合リレーの4種目であった。日頃は学校のプールである為、25mで壁になる。ほとんどの人は50mは初泳ぎであっただろうと思われます。25mあたりで失速する児童も目立ちました。

肝心の医務記録は9件で、水泳中に起ったケースは、こむらがえり2件、鼻に水が入り、鼻腔内の痛みの為水泳中止1件、過呼吸1件、鼻出血1件で他は家からすでに持って来たケースや、水泳以外の場

所での傷等でした。同じ学校の児童のこむらがえりであり、ひょっとすると準備運動不足でなかったでしょうか？ 水温は29.5℃と少し水にしてはぬるいかなあという温度です。重いケースはありませんでした。



南支部会の報告

南支部長 清水 忠雄

7月7日、リーガロイヤルホテル皇家龍鳳にて開催。

奥村会長、長村前会長をゲストにお迎えし、波柴、山本、小山、関、岡本、山下、檜垣（敬称略）、清水の10名が出席。

まず、奥村会長より「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令案」について説明がありました。

既にご存じと思いますが、インフルエンザや流行性耳下腺炎（おたふく）の出席停止期間の見直しの件が含まれています。夏が過ぎれば又インフルエンザの流行期がやってきますので、もう一度確認して

おく必要があります。

食事と共に話は進み、介護保険の事、この度小中一貫校となった凌風学園の話題、9月より不活化ワクチンとなるポリオワクチン及びその他のワクチン、伝染性軟属腫（水疣）について、皮膚科医と小児科医の間で治療に対する考え方が違う（水疣ごときでプールに入れないのはどうかと思うのですが……）など話は尽きませんでした。盛会の内に閉会となりました。

御足労頂きました先生方に感謝申し上げますと共に、来年は更に多くの方のご参加をお願い致します。

京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会のお知らせ

第12回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会

日時：平成24年9月15日(土) 14:00~16:30

場所：こどもみらい館 4階 第1研修室

住所：京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町601番地の1 TEL 075-254-5001
FAX 075-212-9909

*会場には駐車場が少数しかございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

《プログラム》

— 14:00~14:05 — 開会のご挨拶 小児科医会 会長 吉岡 博 先生

特別講演Ⅰ — 14:05 ~ 15:15 — (講演60分、質疑10分)

座長 京都第一赤十字病院 小児科部長 木崎 善郎 先生

『SGA性低身長症の治療の実際』（仮題）

京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学教室 助教 中島 久和 先生

特別講演Ⅱ — 15:15 ~ 16:25 — (講演60分、質疑10分)

座長 よしおかこどもクリニック 院長 吉岡 博 先生

『教師と学校医のための発達障害児への指導と具体的な対応の仕方』

山形大学医学部看護学科 臨床看護学講座 教授 横山 浩之 先生

— 16:25~16:30 — 閉会のご挨拶 京都市学校医会 会長 奥村 正治 先生

*日本小児科学会専門医3単位<申請中>

日医生涯教育講座 ①単位：2.0時間 2単位 ②カリキュラムコード：72成長発達の障害

5 医師-患者関係とコミュニケーション、6心理社会的アプローチ、12保健活動

京都府医師会指定学校医制度更新取得単位1単位、子どもの心相談医研修単位<申請中>

全 理 事 会

平成24年8月4日

於 ジャッジョーロ祇園

出席者 奥村会長，林・竹内副会長，井本専務理事，
東道・福持・杉本各常任理事，佐野眼科学
校医会副会長，坂中理事

・会長挨拶

・各支部活動

中西支部，左京支部より活動報告

<報告事項>

1. 南支部会 7/7 本号P3参照
2. 腎臓相談 7/10, 7/31 各2名
3. 府医 第1回学校保健委員会 7/11
於：京都府医師会館
4. 精神衛生研究会 7/12
5. 府医 第1回学校医部会幹事会 7/12
於：京都府医師会館
6. 校園長会との懇談会 7/14
於：ウエスティン都ホテル京都
7. 色覚相談 7/17 2名
8. 養護教育研究会との懇談会 7/21 於：善哉
9. 第34回 近畿学校保健連絡協議会 7/26
於：和歌山市
10. 京都市小学生水泳記録会 7/30
於：京都アクアリーナ
11. その他
京都市学校保健・学校安全功労者表彰の推薦に
ついて 竹内先生を推薦

<協議事項>

1. 学校検診後，病院受診の紹介状について
紹介状の形式について検討
2. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 8/7, 8/28
2. 常任理事会 9/1 14:00～

